市指定文化財<史跡>

指定日　平成20年7月18日

菊池政隆公墓（きくちまさたかこうぼ）

所在地　菊池市泗水町豊水　安国寺

菊池氏23代政隆の墓は、久米安国寺の裏手に所在する。

永正元年（1504）菊池政隆は、先代能運の遺命により菊池宗家を相続した。翌2年、菊池氏家臣団84名は連署をもって「政隆は将の器にあらず」とその地位を剥奪して、阿蘇家大宮司の惟長を迎え入れた。惟長は菊池武経と改名して肥後守護の座を継いだ。追われた政隆は内空閑、相良氏を頼り更に筑後にて菊池復帰の機会を伺っていた。4年後の同6年（1509）政隆は豊後大友氏の支援を受けた武経と臼間野（南関町）で合戦し、敗れて捕らわれの身となり久米道を阿蘇氏の本拠地矢部浜町に護送されることとなった。ときに菊池の旧臣玉屋三郎貞親は、与力（よりき）の兵200を率いて田島陣塚で待ち伏せ、護送団一行を襲って政隆奪還に成功し久米安国寺に入った。これを知った武経は兵500を率い反撃、両者は久米原で激突するも、再び敗れた政隆は安国寺に入り自刃して果てた。享年19歳であった。